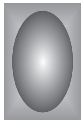


# INFORMATION



財団法人 上原記念生命科学財団 平成16年度

## 研究助成および海外留学助成等の候補者募集

### 1. 研究助成募集要項

(1) 助成対象課題—生命科学，特に健康の増進，疾病の予防および治療に関する次の諸分野の研究

(イ) 栄養学，薬学一般，社会医学（含体力医学），東洋医学

(ロ) 基礎医学（上記以外）

(ハ) 臨床医学（上記以外）

(2) 助成対象者—上記研究に意欲的に従事する日本在住の研究者で，大学の場合は学長（総合大学は学部長）の推薦を受けた者とし，当財団の理事会が承認した研究機関の場合は，その代表責任者の推薦を受けた者とする。

(3) 助成の種類および金額

(イ) 研究助成金（年齢不問，単独研究でも共同研究でもよい）

1件 500万円，助成件数 70件

(ロ) 研究奨励金（若手研究者で昭和42年4月1日以降出生の者，但し医学部等，6年制の学部卒業者は昭和40年4月1日以降出生の者）

1件 200万円，助成件数 80件

(4) 助成金の使途—研究に要する物品の購入その他研究推進に必要な費用とする。

### 2. 海外留学助成（上原フェローシップ）募集要項

(1) 助成対象者—研究助成と同じ課題の研究を行う研究者で次の条件を満たす者とする。

(イ) 研究助成と同様に推薦者の推薦を受けた者

(ロ) 博士号を有するか，またはそれと

同等以上の研究業績を有する者

(ハ) 原則として平成17年1月以降新たに海外留学に出立する者

(ニ) 1年間以上の海外留学を受け入れる大学等学術機関が決定している者

(2) 助成の種類及び金額

(イ) リサーチ フェローシップ

研究奨励金と同じ若手研究者

1件 340万円以内の必要額，助成件数 約60件

(ロ) ポストドクトラル フェローシップ  
昭和46年4月1日以降出生の者で，助成期間中無収入の者

1件 340万円以内，助成件数 約40件

### 3. 応募方法その他（研究助成および海外留学助成共通）

(1) 応募方法—所定の用紙に記入して，当財団へ送付する。

(2) 応募の締切—平成16年9月10日

(3) 選考方法—選考委員会で選考し，理事会・評議員会で決定する。

(4) 採否の通知—平成17年1月中に応募者宛通知する。

(5) 助成金の交付—平成17年1～3月間に贈呈する。

### 4. その他

国際シンポジウム開催に対する助成，

申込締切 平成16年9月30日

5. 申請書提出先および連絡先  
 〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号  
 財団法人 上原記念生命科学財団宛  
 TEL (03) 3985-3500, 8400  
 FAX (03) 3982-5613

E-mail : uehara-f@jade.dti.ne.jp  
 Homepage : <http://www.ueharazaidan.com>  
 申請用紙の請求は葉書, FAX またはE-mailで  
 お願いします。



## 第21回(平成16年度)井上學術賞 受賞候補者推薦要項

財団法人 井上科学振興財団

### 1. 候補者の対象

自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者。

但し、年齢が平成16年9月20日現在で50歳未満の研究者に限ります。

### 2. 学術賞

本賞：賞状及び金メダル 副賞：200万円  
 授賞件数は5件以内とします。

(注) 受賞者は、原則として1件につき1人とします。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示してください。但し、この場合においても1件として取り扱います。

### 3. 推薦依頼先

下記の30学会、並びに当財団の理事・評議員等に推薦を依頼します。

### 4. 推薦件数

各推薦学会または各推薦者から、原則としてそれぞれ1件とします。

### 5. 提出方法

所定の推薦書用紙に必要事項を記載し、当財団あてに提出願います。

### 6. 締切期日

平成16年9月20日(月)

### 7. 選考

当財団の選考委員会において選考し、理事会において決定します。

選考の結果は、平成16年12月中旬に推薦者に通知します。

### 8. 学術賞の贈呈

平成17年2月4日(金)の予定

### 9. 推薦書提出先及び連絡先

財団法人 井上科学振興財団

〒150-0036

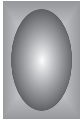
東京都渋谷区南平台町15-15

南平台今井ビル601

電話：03-3477-2738

FAX：03-3477-2747

日 本 数 学 会	日 本 発 生 生 物 学 会	日 本 農 芸 化 学 会
日 本 応 用 数 理 学 会	日 本 分 子 生 物 学 会	日 本 生 理 学 会
日 本 物 理 学 会	日 本 地 震 学 会	日 本 解 剖 学 会
日 本 生 物 物 理 学 会	地 球 電 磁 気 ・ 地 球 惑 星 圏 学 会	日 本 神 經 科 学 学 会
日 本 天 文 学 会	日 本 気 象 学 会	日 本 神 經 化 学 会
日 本 化 学 会	日 本 海 洋 学 会	日 本 生 化 学 会
日 本 動 物 学 会	応 用 物 理 学 会	日 本 免 疫 学 会
日 本 植 物 学 会	電 子 情 報 通 信 学 会	日 本 癌 学 会
日 本 細 胞 生 物 学 会	日 本 金 属 学 会	日 本 薬 学 会
日 本 遺 伝 学 会	高 分 子 学 会	日 本 薬 理 学 会



## 第21回（平成16年度） 井上研究奨励賞 受賞候補者推薦要項

財団法人 井上科学振興財団

### 1. 推薦の対象

平成13年4月1日～16年3月31日（平成13年度～15年度）の過去3年間に、**理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した35歳未満**（平成16年9月20日現在、ただし医学、歯学、又は獣医学の学位取得者については37歳未満。）の研究者で、**自然科学の基礎的研究**において新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出した研究者。

### 2. 授賞件数及び研究奨励金

授賞予定件数は30件。

受賞者には、賞状、メダル及び1件当たり50万円の井上研究奨励金を贈呈します。

### 3. 推薦者

原則として、**博士論文の作成を指導した研究者**とします。

### 4. 提出手続

(1) 推薦者（博士論文指導教授）は、所定の推薦書用紙に必要事項を記入し、**候補者が博士の学位を取得した大学の学長**に提出願います。

(2) (1)により推薦書の提出をうけた学長は、当財団から学長にあてた推薦依頼文書に示された推薦件数枠の範囲内で推薦書を取りまとめの上、学長名の文書を添えて、所定の提出書類とともに当財団へ一括して提出願います。

### 5. 提出書類

- (1) 推薦書 本文（4ページ、所定の様式による。） 1部
- (2) 同上 写し 2部
- (3) 博士論文の概要（形式自由、A4判で1～2ページ、冒頭に、**論文題目と氏名**を記入してください。） 2部  
（「(1) 推薦書」（4ページ）とは別です。ご注意ください。）
- (4) 博士論文（審査終了後、返却します。） 2部

### 6. 締切期日

平成16年9月20日（月）

### 7. 選考

当財団の選考委員会において選考し、理事会において決定します。

（選考結果は、12月中旬に推薦大学の学長に通知します。）

### 8. 研究奨励賞贈呈式

平成17年2月4日（金）午後  
東京で開催の予定。

### 9. 推薦書提出先及び連絡先

財団法人 井上科学振興財団

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町15-15  
南平台今井ビル601

電話：03-3477-2738

FAX：03-3477-2747



## 第7回井上フェロー（平成17年度）の採用許可を希望する研究者 募集要項

### 趣 旨

基礎科学分野の新しい開拓的發展を目指す45歳未満の優秀な研究者が自身の研究計画の推進に有力な協力が得られると考える若手研究者を

自分で選定し、井上フェローとして採用して当該研究計画に参加させるための助成です。

### 応募資格

1. 国公立大学の原則として大学院博士課程

の教員，並びに大学共同利用機関に所属する常勤の研究者。

2. 45才未満（締切日現在）であること。

採択予定数

10名

採択された研究者（研究計画担当者）が実施する研究計画に参加する井上フェローはそれぞれ1名とし，次の条件で採用します。

井上フェロー

1. 対象 平成17年4月1日現在で35歳未満の博士号取得者。外国人も可。

2. 選定 採択研究者（研究計画担当者）がフェロー候補者を選定し，井上科学振興財団が審査の上，井上フェローとして採用します。

なお，フェロー候補者の選定に当たっては，研究計画担当者の出身又は現在所属の「大学院専攻」の出身者，在籍者又は所属教職員以外から選定していただきます。

3. 採用 フェローの採用開始は，平成17年4月1日から1年以内の間とし，採用期間は，採用開始後2年間です。

4. 支給経費 井上フェローには，採用期間中，次の額を支給します。

研究奨励金又は滞在費：月額35万円  
ほかに，必要に応じ往復国際航空運

賃等を支給します。

申請手続

所定の申請用紙に必要事項を記入して，申請者から直接当財団に提出してください。

提出書類

井上フェロー採用許可希望申請書……正本1部，写し2部（計3部）

受付期間

平成16年4月1日～9月20日（当日消印有効）

選考

当財団の選考委員会において選考し，理事会において決定します。

結果は平成16年12月下旬に申請者に通知します。

申請用紙

1. 当財団のホームページ

（<http://www.inoue-zaidan.or.jp>）でコピーしてください。

2. FAXで郵便あて先を明記して請求があれば，郵送も致します。

問い合わせ先

財団法人 井上科学振興財団

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町15-15  
今井ビル601

TEL 03-3477-2738

FAX 03-3477-2747



## 千里ライフサイエンスセミナー ブレインサイエンスシリーズ 第17回

### 「統合失調症：分子から治療まで」

日時：平成16年10月19日（火）

10：00～17：00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階  
ライフホール

着眼点：わが国の精神科入院患者の約6割を占めると言われる統合失調症は，その臨床症状の多様性から，発症機構解明が遅れてきた。しかし，ここ数年のうちに薬理的，分子生物学的，遺伝学的に発症機構

を全く新しい視点で解明しようとする試みがなされている。本セミナーではこれら新しい話題を提供し統合失調症の本質に迫る。

コーディネーター：

浜松医科大学

教授 佐藤 康二

大阪大学大学院医学系研究科

教授 遠山 正彌

プログラム：

1. 統合失調症の分子薬理的解析：ドーパミン受容体およびNMDA受容体作用薬を用いたアプローチ  
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科  
教授 西川 徹
2. PACAPノックアウトマウス—新しい精神機能障害モデル  
大阪大学大学院薬学研究科  
教授 馬場 明道
3. DISC1に結合する蛋白質とその機能的修飾  
大阪大学大学院医学系研究科  
助手 片山 泰一
4. 統合失調症脆弱性遺伝子ディスパインジンの関連解析と神経細胞における機能解析  
国立精神・神経センター神経研究所  
室長 橋本 亮太
5. 統合失調症の神経幹細胞機能異常仮説  
浜松医科大学 教授 森 則夫
6. 統合失調症関連表現型の遺伝子解析  
理化学研究所・脳科学総合研究センター  
チームリーダー 吉川 武男

定員：300名

参加費：

会員（大学・官公庁職員，当財団の賛助会員）  
3,000円

非会員 5,000円，学生 1,000円

申し込み要領：

①氏名，勤務先，〒所在地，所属，電話およびFAX番号を明記の上，郵便，FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

②事務局より受付の通知を返送いたしますので，通知書に記載した振り込み先口座に参加費をお振り込み下さい。

③入金を確認後，通常2週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。

申込先：

（財）千里ライフサイエンス振興財団ブレインサイエンス係

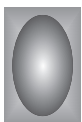
〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL 06-6873-2001 FAX 06-6873-2002

E-mail tkd-lsf@senri-lc.co.jp



## 第31回 岡山脳研究セミナー

テーマ：「シナプスのメカニズムと神経研究の新しい展開」

日時：2004年7月26日（月），7月27日（火）

場所：岡山大学附属図書館鹿田分館3階講堂  
（岡山市鹿田町251岡山大学鹿田キャンパス内）

7月26日（月）講演 9：30～16：00

午前（9：30～11：50）

「シナプスにおけるエンドサイトーシス機構」

岡山大院・医歯・脳神経制御・生化学

竹居 孝二

「サイクリン依存性キナーゼ5（Cdk5）によるシナプス機能制御」

岡山大院・医歯・脳神経制御・細胞生理学

富澤 一仁

「感染脳症の発症メカニズム」

岡山大院・医歯・病態機構学 森島 恒雄

午後（13：30～16：00）

「グリア-ニューロン回路網の概念に基づいて脳機能を考える」

東京薬科大・生命科学・生体高次機能学

工藤 佳久

「運動ニューロン疾患の病態と治療」

名古屋大院・医・脳神経病態制御 神経内科学

祖父江 元

「シナプス伝達のCa<sup>2+</sup>依存性の分子基盤」

新潟大院・医歯・分子細胞機能・生化学第2

五十嵐道弘

「海馬興奮性シナプスの分子構築と動態」

東京医科歯科大院・医歯・細胞生物学

岡部 繁男

7月27日(火) ワークショップ 9:00~15:00

実験手技解説と実習または見学(1コース5~10人程度) 岡山大院・医歯・脳神経制御学講座

コース1. 「脳内細胞移植」

神経病態外科学 新郷哲郎

コース2. 「DNA抽出と遺伝子診断」

神経病態内科学 永田 哲也

コース3. 「高速共焦点顕微鏡を用いたlive imaging」

生化学 山田 浩司

コース4. 「蛍光標識した細胞内微小器官のリアルタイム機能イメージング法」

細胞生理学 陸 雲飛

コース5. 「組み換え蛋白質の精製法」

細胞生理学 富澤 一仁

コース6. 「シナプス解析のための免疫組織化学の基礎」

神経機能構造学 細谷 修

当日参加可能(ただし、ワークショップ参加希望者は事前登録をお願いします)

参加費:2千円(ただし、岡山大学の教職員、大学院生、学部学生は無料)

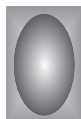
事務局:〒700-8558 岡山市鹿田町251

岡山大学大学院医歯学総合研究科

脳神経制御講座 生化学

Tel:086-235-7125, Fax:086-235-7126

E-mail:kohji@md.okayama-u.ac.jp



## 第51回中部日本生理学会のご案内

中部地区の地方会(中部日本生理学会)は、愛知、静岡、三重、岐阜、山梨、長野、石川、富山、福井各県の生理学会会員の集まりとして年1回行われてきました。今年度は静岡で開催致します。近年、地方会を充実させようとする機運が高まっております。今回は特別講演をもうけました。また皆様のご協力を得て、普段聞けない他分野の充実した発表や、若手研究者の思い切った発表が聞ける内容の濃い会にしたいと思えます。多数のご参加、演題をご提出頂きますようご案内申し上げます。

なお、昨年に引き続き今年度も全国から演題を受け付けることに致しました。

会期:平成16年10月2日(土)10:30~

10月3日(日)12:00

会場:グランシップ(会議室910)

静岡市池田79-4(東海道線、東静岡駅前)

一般演題:口演(発表11分、討論4分の予定)

演題数により変更の可能性がありま

す。)

特別講演:今井 正 先生(自治医科大学名誉教授、国際医療福祉大学 基礎医学研究センター教授)

演題「尿の濃縮機構」10月2日(土)

17:00~18:00

懇親会:10月2日(土)18:30~20:30(グランシップ:会議室904)

テニス大会:10月3日(日)13:00~16:00

(静岡県立大学テニスコート予定)

会費:参加費:¥3,000

懇親会費:一般会員¥5,000、学生会員¥3,000

テニス大会参加費:¥1,000

第51回中部日本生理学会

電子メールアドレス:

chubu@smail.u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ:<http://physiology.u-shizuoka-ken.ac.jp/meeting/chubu.htm>

申し込み:上記の電子メールアドレスへ、締め切

りは平成16年8月6日(金)

- 1) 参加申し込み：参加者氏名，職名，所属，懇親会出席の有無，テニス大会出場の有無，入金明細をお送りください。
- 2) 演題申し込み：演者，所属，演題名  
発表資格：発表者（演者）の方が日本生理学会の会員であるか，発表者は生理学会会員でなくても共著者の中に評議員がいることが必要です。未入会の方は入会手続きをしてください。共同発表者の方は入会不要です。入会手続きについては日本生理学会のホームページ (<http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>) でご確認ください。尚年会費は一般会員が10,000円で，学生会員は3,000円です。

なお演題の要旨の締め切りは平成16年8月27日(金)です(下記)。

演題提出，参加申し込みは電子メールでの受付を原則としますが，電子メールをお使いでない場合は，下記連絡先住所に必要情報をご郵送(またはファックス)ください。その際は，連絡先電話番号およびファックス番号をお忘れなくご記入下さい。

その他の詳細については，第51回中部日本生理学会ホームページをご参照ください。

振込先：口座番号：00850-3-203587

口座名称：第51回中部日本生理学会  
上記振り込み口座に郵便局にある青色振り込み用紙でお振り込みください。

一般演題要旨および日本生理学雑誌掲載用抄録：  
上記の電子メールアドレスへ添付書類としてお送り下さい。締め切りは8月27日(金)です。

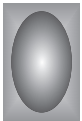
- 1) 一般演題要旨：ファイル形式はMS Word document形式，リッチテキスト形式，テキスト形式のいずれか。演題名，発表者・所属，本文をおおよそ1000字以内にまとめてください。最終的にこちらで字体や大きさ等の形式をそろえます。なお演者に○印をつけてください。
- 2) 日本生理学雑誌掲載用抄録：一般演題要旨と同時に，日本生理学雑誌掲載用抄録(タイトル・発表者・所属を含め600字以内，図表使用不可)を，上記と同様の形でお送り下さい。条件に合えば要旨と同じものでもかまいません。

連絡先：422-8526 静岡市谷田52-1

静岡県立大学食品栄養科学部 鈴木裕一  
tel：054-264-5532

fax：054-264-5535

静岡県立大学食品栄養科学部 鈴木裕一  
静岡県立大学環境科学研究所 桑原厚和



## 第12回日本発汗学会総会のご案内

1. 会 頭：坂口正雄（長野工業高等専門学校電子制御工学科教授）  
演者：戸川達男先生（早稲田大学人間科学部特任教授）
2. 会 期：平成16年8月27日(金)・28日(土)
3. 会 場：長野市若里市民文化ホール  
(JR長野駅東口よりバスにて15分，タクシー10分，徒歩25分)  
〒380-0928 長野市若里3-22-2  
TEL：026-223-2223
4. プログラム  
1) 特別講演：「発汗測定の新技術」  
2) オーガナイズセッション：「無汗症の臨床」  
オーガナイザー 二瓶健次先生（国立生育医療センター神経科）  
田村直俊先生（埼玉医科大学神経内科）  
3) 一般講演：口演8分，討論4分を予定しております。  
4) ポスター講演：ポスター展示の他に1枚のOHPシートによる口演（1～2分）を

予定しています。

- 5) 一般公開講座：「汗にまつわる健康の話」  
講師 大橋俊夫先生（信州大学医学部長）  
「発汗と温泉の効用」講師 飯島裕一先生（信濃毎日新聞編集委員）
- 6) 機器展示：協賛企業の機器展示
5. 演題募集：一般演題を募集いたします。発汗学綴りの抄録用紙および採否・受領はがきに必要事項を記入の上、総会事務局（下記）までお願いいたします。なお、メールによる演題申し込みも受け付けます。メールによる受付の場合は、「所属」「氏名」「連絡先（メールアドレスを含む）」および「発表区分（口演およびポスター）」を記入の上、抄録をテキストにて本文中に記入して総会事務局までメールにて送付して下さい。演題受付、演題採否通知はメールにて返送いたします。

6. 総会事務局：  
〒381-8550 長野市徳間716  
長野高専電子制御工学科 小野伸幸  
TEL/FAX：026-295-7070（ダイヤルイン）  
E-mail：ono@ec.nagano-nct.ac.jp
7. 演題締切り：平成16年6月28日（月）必着
8. 応募資格：演者・共同演者は日本発汗学会会員に限ります。非会員は下記学会事務局まで入会の申し込みをお願いいたします。
9. 日本発汗学会事務局：  
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1  
信州大学医学部器官制御生理学教室内  
日本発汗学会 事務局  
TEL：0263-37-2597  
FAX：0263-36-5149  
第12回日本発汗学会総会の詳細については下記URLをご覧ください。  
<http://ecweb.nagano-nct.ac.jp/JSPR12/>



## 第240回生理学東京談話会のご案内

第240回生理学東京談話会を下記の要領で開催いたします。今大会ではUCLA, Neurobiology of the Feldman教授の特別講演があります。会員の皆様もなるべく英語での発表をお願いいたします。ふるって演題をお寄せください。

日時：平成16年9月1日（水）

場所：国際文化会館

東京都港区六本木5-11-16

演題申込締切：平成16年7月20日

発表はすべて口演形式。講演時間は討論を含め15分。PC出力によるプロジェクターによる発表。PCは各自ご持参ください。

演題申込方法：電子メールの添付書類として下記にお送りください。ファイル形式はWord形式、テキスト形式のいずれか。演題名、発表者・所属、本文（500字以内）をB5の枠内

に入るようにしてください。口演者に○印をつけてください。「日生誌用抄録」としてそのまま使用します。

評議員会：昼食時に開催します。

参加申込：演題申込と同じメールアドレスに、参加者および評議員会出席者のご氏名を教室・研究室単位で平成16年8月20日までにご連絡ください。参加費は無料。評議員会の昼食代は当日徴収。

演題・抄録・参加の申込は電子メールアドレス：ihomma@med.showa-u.ac.jpへどうぞ。

当番幹事：久光 正（第一生理）、本間生夫（第二生理）、井上富雄（口腔生理）

〒142-8555 東京都品川区旗の台

1-5-8 昭和大学

Tel：03-3784-8113

Fax：03-3784-0200（本間）